

# 成田国際空港北部貨物地区における トラックドックマネジメントシステムの 導入について

- Q&A -

**2023年3月14日更新 Ver.2**

2023年3月

成田国際空港株式会社

営業部門 貨物営業部



## Ver.2 主な変更点

- トラックドックマネジメントシステムの対象となる車両、貨物を、「北部貨物地区外から北部貨物地区の輸出上屋に輸出貨物を搬入する全長 12 メートル以下（10 トンロングを含む）の車両」へ変更しました。
- トラックドックマネジメントシステムの対象となる「車両」の定義から、「空港内フォワーダー手倉からキャリア上屋への搬入車両等、北部貨物地区内の施設間を移動する貨物を搬送する車両」を除きました。（ただし、第 5 貨物ビルと他施設との間で搬送される貨物は引き続き対象となります。）

## 目次

1. 導入の背景.....	3
2. トラックドックマネジメントシステムの対象.....	4
3. 施設、設備について .....	7
4. 登録・呼び出し等、運用にかかわるご質問について.....	8
5. 不具合発生時等の対応について.....	11
参考 トラックドックマネジメントシステム アプリ、Web サイト、マニュアルのダウンロードについて.....	12

## 1. 導入の背景

Q.トラックドックマネジメントシステムを導入する理由は？

A.従前から北部貨物地区における交通混雑は大きな問題となっており、特にコロナ禍においては、人身事故も発生する事態となっております。上屋における現在の受付手続きでは、トラックドライバー様は上屋前で路上駐車をして待機せざるを得ない状況であることから、受付のシステム化、呼び出し機能の追加を行うことで、貨物地区構内の秩序と安全確保を目的として、導入を決定致しました。

Q. トラックドックマネジメントシステム導入によって、代理店、トラックドライバーに費用負担あるのか？

A. 皆様に広くご利用頂き、より安全で効率的な貨物地区の実現につなげるため、代理店様、トラックドライバー様の費用を負担いただくことはございません。

Q. NAA からの周知状況は？

A. Cargo Terminals Operators Committee (CTOC)、航空貨物運送協会 (JAFA)、成田地区貨物運送協会 (NAFA)、成田地区保税会、東京通関業界、千葉県トラック協会、全日本トラック協会を通じ、周知させて頂いております。また、ドライバー様向けに、北部貨物地区各入構ゲートにて、周知ビラの配布をさせて頂いております。

## 2. トラックドックマネジメントシステムの対象

Q. トラックドックマネジメントシステムの対象となる車両、貨物は？

A. 「北部貨物地区外から北部貨物地区の輸出上屋に輸出貨物を搬入する全長 12 メートル以下 (10 トンロングを含む) の車両」が対象となります。

Q. 「北部貨物地区」の定義は？

A. 貨物北口、貨物中央口、貨物南口等から車両の入場が可能な、第 1～7 貨物ビル、輸入共同上屋ビル、日航貨物ビル等が所在する貨物ターミナル地区及び、第 3 旅客ターミナル横に所在する JAL 第 5 貨物ビル (JL5) を指します。

Q. 「輸出上屋」の定義は？

A. 株式会社 JAL カーゴサービス、株式会社 ANA Cargo、株式会社大韓航空、フェデラルエクスプレスジャパン合同会社、国際空港上屋株式会社が運営する輸出貨物を取り扱う上屋を指します。第 3 旅客ターミナル横に所在する JAL 第 5 貨物ビル (JL5) も含まれません。

Q. 「輸出貨物」の定義は？

A. 成田国際空港を出発する航空機に搭載され、本邦から輸出される貨物を指します。

Q. トラックドックマネジメントシステムの対象となる「車両」の定義は？

A. 対象となるのは「輸出貨物を輸出上屋に搬入する全長 12 メートル以下 (10 トンロングを含む) の自動車」となります、荷役形態は問いません。

### ・対象となる車両

空港外フォワーダー施設からキャリア上屋への搬入車両 (ばら貨物、インタクト共に)  
空港外荷主倉庫・工場等からキャリア上屋への搬入車両  
エアライン手配の空港間転送 (ロードフィーダーサービス) の車両  
空港内フォワーダー手倉から第 5 貨物ビルへの搬入車両、第 5 貨物ビルと他施設との間で搬送される貨物

### ・対象外となる車両

車両以外 (フォークリフト、台車、ハンドキャリー等) で搬入される貨物  
空港内フォワーダー手倉に搬入される貨物  
空港内フォワーダー手倉からキャリア上屋への搬入車両等、北部貨物地区内の施設間を移動する貨物 (ただし、第 5 貨物ビルと他施設との間で搬送される貨物は対象と

なる)

第4 貨物ビル1階 日本郵便庫内郵便を発着する車両

貨物搬入以外のために来場車両

(例) エアラインとの ULD 貸し借りのための車両

Air Waybill 等、書類の受け渡しのための車両

自動販売機の補充、クリーニング等貨物事業と関係の無い車両

Q. 手おろし等、フォークリフトを使用しない荷役形態であってもシステムの対象となるのか？

A. 荷役形態に関わらず、車両による輸出貨物搬入であれば対象となります。

Q. フォワーダー手倉への搬入はシステムの対象となるか？

A. 対象外となります。

Q. ULD 単位の貨物 (BUP、インタクト) はシステムの対象となるか？

A. 全長 12 メートル以下の車両 (10 トンロングを含む) で搬送される限り対象となります。搬入上屋の選択の際に、BUP 対象のバースを選択ください。

Q. 輸出貨物と輸入貨物を合積みしている車両もシステムの対象となるか？

A. 輸出貨物のキャリア上屋への搬入部分については対象となります。

Q. 貴重品 (VAL) 等特殊貨物の搬送車両についても対象となるか？

A. キャリア上屋に搬入される輸出貨物であれば対象となります。

Q. 搬入時間がカットタイム直前でエアラインと調整している場合でも、システムの対象となるか？

A. 対象となります。システム入力時に LDR 番号を入力するなどして、上屋側から急ぎの貨物を搭載した車両であることが分かるようにしてください。

Q. フライト欠航などにより、キャリア上屋に搬入した貨物を引き取り、再度キャリア上屋に搬入する場合は対象となるか？

A7. 貨物の引き取りに当たってはシステムの利用は必要ありません。引き取った貨物を別のキャリア上屋に搬入される際は、システムの対象となります。

Q. 南部貨物地区が対象とならない理由は？

A. 貨物地区の整備時期の関係から、交通混雑は北部貨物地区に集中しており、北部貨物地区での先行導入を決定致しました。南部貨物地区での導入については、南部貨物地区上屋事業者とも協議の上、検討してまいります。

Q. 輸出貨物のみが対象で、輸入貨物が含まれていない理由は？

A. 輸出貨物についてはどの上屋であっても上屋側（エアライン側）フォークリフトで取り降ろしが行われていることから、先行して導入を決定致しました。輸入については上屋によって荷役形態（上屋側フォークによる積み込み、代理店フォークによる積み込み）が異なっていることから、先行して輸出貨物を対象とすることとなりました。輸入への導入についても、引き続き関係者と協議の上検討を進めてまいります。

### 3. 施設、設備について

Q. 新設されるトラック待機場のキャパシティは？

A. 大型車枠で 61 枠となります。

Q. 新設されるトラック待機場の設備は？

A. 車番認証のために必要なカメラを設置しています。その他、事務室（チェックインスペース）にはシステム登録手続きのためのタブレット、休憩スペース、トイレ、喫煙所、飲料自販機を設置します。

Q. システムを使用可能な端末のスペック等は？

A. 対応スペックは以下となります。

■ Web版

対象ブラウザ：Google Chrome

画面解像度：1920x1080（フルHD）

■ iOS

対象端末：iPhone ※iPadは保証対象外

OSバージョン：iOS14～16

■ Android

対象端末：—

OSバージョン：Android10～12

Q. スマートフォンを持っていないトラックドライバーはシステムを利用できないのか？

A. 従来型の携帯電話（ガラケー）をご使用の方は、新設するトラック待機場の事務室（チェックインスペース）に設置のタブレットにて、お手続きが可能です。呼び出しはご登録いただいた電話番号に自動音声で連絡されます。

Q. チェックインスペースに設置されるタブレットの台数は？

A. 約 10 台の設置となります。

Q. チェックインスペースにはスタッフが常駐するか？

A. 習熟までの間 1 カ月程度はスタッフが常駐する予定です。



#### 4. 登録・呼び出し等、運用にかかわるご質問について

Q. 予約をしておけば車両がどこにいても呼び出しの対象になるのか？

A. 呼び出しの対象になるためには、システムを通じて予約の上、新設するトラック待機場に来場いただき、設置されている車番認証カメラで車番の確認を受ける必要があります。

Q. なぜ車番を読み込む必要があるのか？

A. 事前に予約だけ行って、実際には成田空港に到着していない車両を待つことなく、実際に成田空港に到着したことが確認できた車両から呼び出しの対象とするために、車番の読み込みを行います。

Q. 成田空港から半径何キロ以内に入ったら予約可能といった機能はあるか？

A. ありません。予約はどこからでも可能です。但し、上屋からの呼び出しの対象になるのは、新設するトラック待機場に来場いただき、設置されている車番認証カメラで車番の確認を受けた（＝成田空港への到着が確認できた）車両となります。

Q. システムを通じて予約を行うとあるが、必ずその時間に呼び出してもらえるのか？

A. 予約時間はあくまで目安であり、実際には新設するトラック待機場に新設する車番認証カメラで車番の登録（＝成田空港へ到着したことの確認）が完了した順番での呼び出しとなります。

Q. カットタイム直前に予約を行った場合等、急ぎの場合であっても順番を待って搬入しななければならないか？

A. 呼び出しは原則、トラック待機場に到着し、車番の認証が完了した順番となります。カットタイム間際の場合など、やむを得ず、上屋側の判断で優先的に呼び出しをかけることもございます。登録時に LDR 番号を登録し、上屋側から判別がつくようにしてください。

Q. 予約情報の入力、ドライバー本人以外でも行うことは可能か？

A. 代理店様、運送事業者配車担当様などで代行することも可能です。搬入されるドライバー様のアカウントでログインして、ご予約ください。

Q. LDR・Air Waybill (AWB) の項目は入力必須か？

A. どちらも必須項目ではありませんが、LDR 番号がある貨物については、上屋側でどの貨物を搬入予定か認識するために、可能な限り入力をお願い致します。

Q. 1回の搬入で複数上屋を回る場合、どのような対応となるか？

A. 予約時に、搬入先を複数登録することができます。1 か所目での搬入終了後、2 か所目の上屋が空いていればスマホアプリまたは電話にて呼び出しが行われます。呼び出しがかからない場合には、天浪トラック待機場にて待機頂き、呼び出しをお待ちください

Q. 複数上屋に搬入する際に、最後に搬入したい上屋から先に呼出がかかってしまうことはないか？

A. ありません。ご入力いただいた上屋の順番での呼び出しとなります。

Q. 呼出に応答できなかったか場合はどのようなになるか？

A. 応答がない場合、必要に応じ上屋側から再度の呼出が掛かります。その上で、連絡が取れないようであれば上屋側から予約がキャンセルされる場合があります。

Q. 1 か所目の上屋で搬入を終えた後の車両は、2 か所目の上屋に搬入する際にどのように呼び出されるのか？

A. スマホアプリのプッシュ通知又は自動電話にて呼び出されます。

Q. 1LDR を複数車で搬入する場合の対応は？

A. それぞれの車両予約時に、同じ LDR 番号を記載いただき、備考欄に複数車による搬入である旨ご記載下さい。

Q. 誤入力をしてしまった際の修正はどのような手順となるか？

A. トラック待機場での車番認証前であれば、会社名・車番・ドライバー名・電話番号・メールアドレス・免許番号の修正は可能です。搬入先の修正は不可の為、予約を一度削除し、再予約ください。

トラック待機場での車番認証後は、修正が出来ませんので、再度登録をお願い致します。

Q. 自分の前に何台車両が待機しているか等、時間の目安を把握することはできるか？

A. システム稼働当初は、待機台数や時間の表示は行っておりません。

Q. 現在は列を作って車両が待機することで、自分が何番目に作業されるか可視化が出来ていた。システム化を行うことで、エアライン・上屋事業者の都合の良いように、恣意的に呼び出しの順番を変えられてしまうことは無いのか？

A. 呼び出しの順番は、原則、新設するトラック待機場場に新設する車番認証カメラで車番の登録（＝成田空港へ到着したことの確認）が完了した順番となります。

一部緊急の貨物については、これまで同様、エアライン、上屋側の判断により個別に呼び出しを行うことはあり得ますが、明確な理由なく、恣意的に呼び出しの順番を変更することはございません。

Q. 搬入とラベルチェンジに伴う引取を同一車両で行う場合はどのように入力すればよいか？

A. 引取についてはシステムへの入力は不要となりますが、搬入の予約を行って頂く際に備考欄に記載頂くことで、上屋側への周知を頂ければと存じます。（運用の詳細は対象上屋にお問合せください。）

Q. 予約可能な時間は上屋の営業時間のみか？

A. 予約は24時間受け付けております。

Q. トラック待機場場への入場できない時間帯はあるか？

A. トラック待機場場及びチェックインスペースは24時間開放しております。

Q. 予約が受け付けられれば、上屋への搬入は可能と認識して良いか？

A. システム上で表示される上屋の営業時間内であれば、基本搬入可能となります。ただし、通常搬入を受け付けていない時間帯等が営業時間として設定されているようであれば、お手数ですが都度搬入先にお問合せ頂きたいをお願いします。

Q. 搬入実績の記録を確認することは可能か？

A. 自身のアカウントから予約した情報は、1年分が確認可能となります。

Q. ドライバーの個人情報の取扱について

A. 個人情報は本システムの運用のためだけに使用され、それ以外の目的での使用はございません。あくまでも、従来カウンターで紙の台帳に記入していたものをシステムに移行するのみとなります。システム利用時に、上述の内容を記載した利用規約に同意を頂くこととなります。

## 5. 不具合発生時等の対応について

Q. システムトラブルが発生した際のフローはどのようになるか？

A. システムが使用不能となった場合には、NAA から各事業者様に遅滞なくご連絡させていただきます。並行してトラック待機場等に警備員を配置して周知・誘導に努めます。システムが使用できない場合の上屋での手続きは、従来のマニュアル対応に戻すこととなります。

Q. 突発的繁忙などで、トラック待機場のキャパシティを超える台数のトラックが来場した場合の対応は？

A. 貨物郵便口の開放、警備員による誘導などを実施する予定です。

Q. 不具合発生時の問い合わせ先は？

A. 成田国際空港株式会社貨物営業部となります。

## 参考 トラックドックマネジメントシステム アプリ、Web サイト、マニュアルのダウンロードについて

以下の QR コード、URL からアクセスをお願いします。

スマホアプリダウンロードサイト・Web サイト共に、3 月 10 日頃からのオープンを予定しております。

### ●スマホアプリダウンロードサイト

<https://www.tdm-portal-logipull.com/#application/other/applicationinstall>

### ●Web サイト

<https://www.tdm-portal-logipull.com/#application/authentication/login>

### ●マニュアルのダウンロード

マニュアルはアプリダウンロードサイト (<https://www.tdm-portal-logipull.com/#application/other/applicationinstall>) によりダウンロード頂けます。

以上